2025年(令和7年)10月29日(水曜日)

資産」の認定も盛り込んだ。 域の重要な資源として「景観 樹木」 として指定できる。 地 と、歴史・文化継承の象徴な ちづくりについて理解を深め 地域一体の取り組みや景観ま カッションを通じて、 もに来年4月に施行すること に関する方針を示す「景観計 良好な景観の保全・形成など 短期大学校で開かれる。 11 月 20 巨 全ての建築行為などには「景 てもらう。 業報告や講演、 パネルディス にしており、 景観計画を策定。 計画による を進めるための指針として、 とに該当する建物と樹木は 景観重要建造物」「景観重要 市は調和のとれた景観形成 | を策定し、景観条例とを **人館市景観シンポジウムは** 秋田職業能力開発 初めて開催。 市民に 市は

理解を 景観 ___

ポジウ でシ

策定 初

部長が「景観×歴史×人によ

黒石市商工観光部の太田淳也

るまちそだて」、いわてNPO

がパネリストとして登壇する。 秋田建築士会の松橋雅子会長

NETサポートの菊池広人

取り組み発表を行う。青森県

啓司特任教授をコーディネ

ターに、講師の2人や大館・北



明する。 の職員が景観計画の概要を説 1部では、大館市都市計画課 模以上の建築物・工作物の建 シンポジウムは3部制 景観形成基準」を定めた。 開発行為などに対しては 第2部では先進地の する。 ~」。弘前大学教育学部の北原 〜ふるさとの風景をこの先も ションを行う。テーマは「未来 、繋(つな)ぐ景観まちづくり

観配慮事項」を設定。 定規 景観まち育て」と題して講演 事務局長が「ふつうのまちの 第3部はパネルディスカ

 $\frac{1}{2}$

聴講は事前申込制で、無料。 申し込みは

135 3 86 43 7 市都市計画 ール ke ikar (1) (1)

シンポジウムを周知するチラシ

月10日

め切りは11

·g.jp)。締

@city.odate.